

# 北海道学び推進月間の取組

上川教育局  
平成30年12月13日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

## ○ 北海道春の学び推進月間の取組

### 家庭学習の充実に向けた保護者向けガイダンス

東神楽町立東神楽小学校では、家庭学習の習慣化に向けて、4月に「家庭学習の手引き」を配付するとともに、保護者を対象に家庭学習の取組についてのガイダンスを実施しました。ガイダンスでは、保護者が低学年は解答の丸付けをすること、中学年は児童の疑問に答えること、高学年は励ましの言葉を掛けることなど、児童の発達の段階に応じた家庭学習への関わり方について説明しました。



【ガイダンスの様子】

また、学校では、児童の家庭学習の状況を教員が見取り、家庭学習ノートへのコメントの記入、個に応じた宿題の内容の工夫をし、家庭と連携を図った家庭学習の取組を推進するとともに、休み時間等を利用した個別指導を実施しました。

取組の成果として、家庭学習の習慣化、個に応じた指導の充実などが見られました。今後は、宿題の内容の精選化を図り、家庭学習の取組の充実を継続したいと考えています。

## ○ 北海道秋の学び推進月間の取組

### 「十勝岳ジオパーク学習」の取組

上富良野高等学校では、十勝岳ジオパーク推進協議会と連携し、十勝岳の成り立ちや歴史、防災等を学び、郷土に愛着と誇りをもち、主体的に行動できる生徒を育てることをねらいとした取組を行っています。



【朗読劇の様子】

11月9日には、本校生徒が「『泥流地帯』映画化を進める会」の応援隊として、朗読劇「いいことがありますように」を地域住民に向けて行いました。

上富良野町を舞台とした三浦綾子の小説「泥流地帯」の主人公の心情の変化を的確に表現し、熱のこもった朗読劇を行うことができ、地域住民の好評を得るとともに、大きな反響となりました。

今後は、朗読劇の台本を英語に翻訳して外国人観光客等に向けた朗読劇を実施し、諸外国との交流を図るとともに、より多くの人に町の歴史を発信したいと考えています。

## 「北海道学び推進月間」 標語

- ☆**最優秀作品（最優秀賞）**☆ 東神楽町立東神楽小学校 5年 郡司掛 志 侑 さん  
「 学びから 新たな自分が 咲く未来 」
- ☆☆**優秀作品（奨励賞）**☆☆ 占冠村立占冠中央小学校 5年 八 木 翔 琉 さん  
「 勉強で 広がる自分の STORY 」
- 旭川市立東陽中学校 2年 長 嶋 姫 花 さん  
「 ひろげよう 明日へ続く 学びの輪 」
- 北海道士別翔雲高等学校 1年 佐 藤 梨 那 さん  
「 学びから 広がる未来 咲く笑顔 」

今年度もたくさんの作品を応募いただき、ありがとうございました。